

2019年9月13日

長野県知事
阿部 守一 様

日本共産党県議団 団長 毛利 栄子

9月県議会にむけた申し入れ

- 1、豚コレラの緊急ワクチン接種は、日本養豚開業獣医師会などの要望する「地域・期間を限定したワクチン使用」を、養豚業者及び流通業者などの理解を得て弾力的に対応するよう引き続き国に要望してください。
- 2、豚コレラによる殺処分や、早期出荷などで被害を受けた農家への十分な補償と経営支援などを、国の責任で行うよう求めてください。
- 3、子どもたちの安全を守るため、危険なブロック塀の撤去、通学路・散歩ルートなどの点検・安全確認に基づき、緊急度の高い箇所から改修・整備を着実に実施してください。
- 4、学校の教室などのクーラーの設置は大きく進みました。しかし特別教室などは、いまだに設置されていないところもあり課題が残されています。引き続き対応を強めてください。
- 5、生活保護世帯へのクーラー設置が進むよう、国に働き掛けてください。
- 6、リニア中央新幹線工事では、自治体や住民に不信が広がる残土処理問題に加えて、ウラン含有残土を未報告で処理していたことが発覚するなど、JR東海の隠ぺい体質が問題になっています。県として、情報公開や住民への丁寧な説明をJR東海に求めてください。
- 7、米軍によるオスプレイの飛行や輸送機の低空飛行が繰り返されています。県が防衛省に要望しましたが、改善されていません。飛行高度の測定は現在の技術で可能ですから、県として調査してください。
- 8、大北森林組合の事件により県が組合に返還金を求めています。返還が可能なのか疑問です。県として組合の経営状況を明らかにするとともに、組合の経営改善に県が責任をもって対応するよう求めます。

以上